

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2018年3月24日～2018年3月30日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で上昇しました。またトルコの2年国債金利は低下(価格は上昇)しました。

トルコの2017年10-12月期のGDP(国内総生産)成長率が発表され、前年同月比で7.3%と市場予想を上回りました。またエルドアン大統領とトウスクEU(欧州連合)大統領は会談を行い、関係改善に向けた具体的な解決策の合意には至らなかったものの、対話を継続していく方針が示されました。

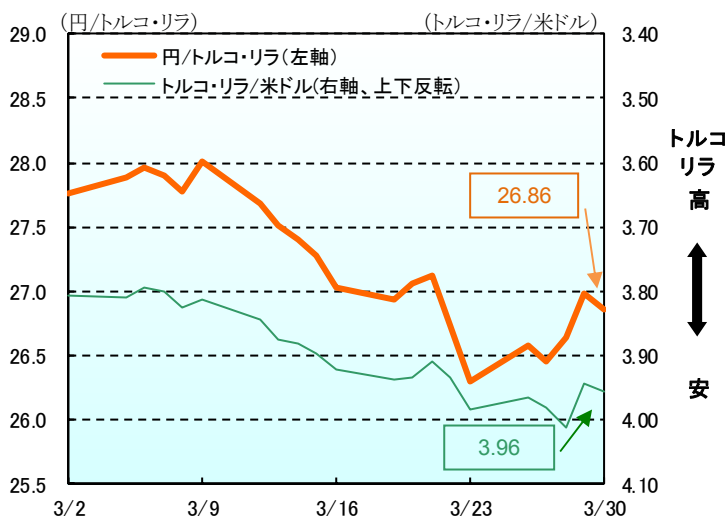
週の前半は、前週に引き続き世界的なリスク回避の動きなどから通貨、債券ともに軟調な動きとなりましたが、後半には、堅調なGDP統計や世界的な株価の反発を受けて買い戻される展開となりました。

【2】今週の見通し

今週は2018年3月のCPI(消費者物価指数)の発表が予定されています。トルコのインフレ率は前年同月比ベースで2017年11月をピークに鈍化を続けているものの、前月発表分は市場予想を上ぶれており、依然として二桁の伸び率となっていることから、市場でのインフレ率の高止まり懸念は続いています。インフレ率が沈静化する兆候が見られるのか、今後の金融政策を占う意味でも注目が集まります。

またトルコと欧米諸国の関係性やそれに伴う政府関係者の発言については、今後もトルコの金融市場に影響を及ぼす可能性があり、状況を注視していく必要があると考えています。

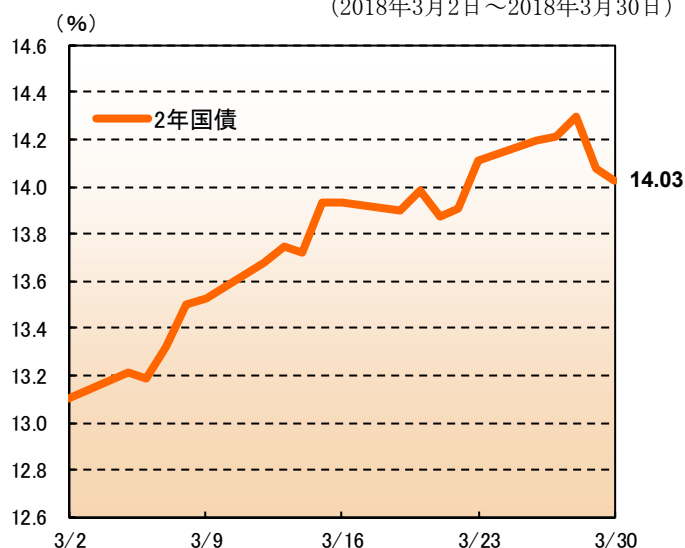
【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年3月2日～2018年3月30日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2018年3月2日～2018年3月30日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>